

平成 27 年 6 月 20 日

居住者各位

蚊の発生防止対策の実施報告とお願い

ファミリーハイツ明石管理組合
理事長 一瀬充弘

蒸し暑い毎日が続き、今年も蚊の発生するシーズンとなりました。

まず、ここで、**蚊の一生**について調べてみましたのでお知らせします。

蚊は、成虫と幼虫（ボウフラ）の住む場所が全く異なります。

ボウフラは、水の中で暮らします。卵から成虫に羽化するまで、ずっと水の中です。その生息場所もさまざまで、下水溝・雨水マス・水槽・古タイヤ・空き缶などに溜まった水や、ビニールに溜まってしまった水などはすべて蚊の発生源になります。蚊は雨水マスなどの水溜まりに卵を産み、これがふ化してボウフラとなりさらに成虫の蚊になります。蚊は、草木の湿気の多い場所などに住んでいます。

羽化した成虫は木陰などに潜んでいます。

オス・メスともふだんは花の蜜、果樹の汁や樹液などが“食物”ですが、

メスは産卵のため吸血します。

蚊が 1 回に吸うことのできる血の量は自分の体重と同じぐらい。体重が倍増します。タツプリ吸血するとそれを消化吸収して、2 週間ほどで新しい吸血魔が誕生します。

メスは吸血の 4～5 日後に 300 粒あまりの卵を産み落とします。卵は 2～5 日でボウフラとなり、それから 7～10 日で 4 回脱皮してサナギになり、さらに 3 日ほどで成虫になります。つまり 2 週間ほどで新しい吸血魔が誕生することになります。

この季節の蚊の一生は、卵から成虫になるまでに約 10 日間です。

成虫は、およそ 1 か月間生きますので、平均して 4～5 回血を吸って卵を産みます。

管理事務所では従来より、雨水マス（会所）に適時、殺虫剤を投入してボウフラの発生率を抑えてきました。

これに加えて、**蚊の発生を阻止する更なる対策として今回、大多数の雨水マスふた（グレーチング製、または、コンクリート製）の隙間部分に防虫ネットを貼り**

蚊の出入りを遮断する処置を講じました。

居住者各位におかれましても、ベランダに水がたまりやすい容器を長時間放置したままにしないでください。

定期的に点検し、溜まり水の処分をお願いします。

溜まり水がありますと、そこに蚊が卵を産み付け、蚊の発生原因となります。

特に、構造上、ベランダを日常使用しない住戸が多いと見受けられ式番館西面のベランダなどでは日常の点検をぜひともお願いします。

蚊の発生のみならず鳩等鳥類の住み家ともなりますので整理整頓のほどよろしくお願いします。

昨年には、蚊が「デング熱」を媒介することが問題化しました。

管理事務所でも、蚊の発生を極力抑える対策を打っています。

皆様におかれましても、**虫よけの対策を行っていただき**、極力蚊に刺されないようにご注意願います。

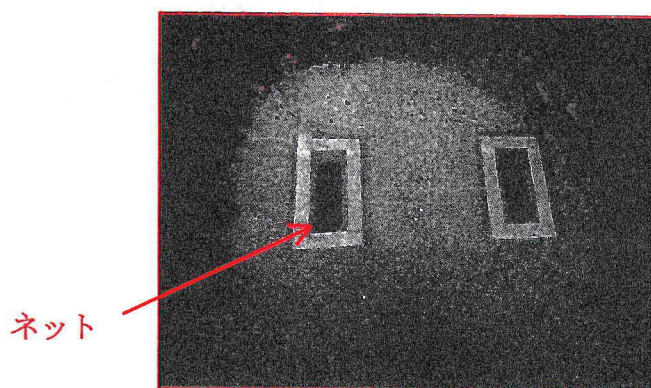
特に、体力的に弱いお子さん、ご高齢者には注意してあげてください。

上記の「蚊の一生」にもありますが、メスの蚊の産卵の栄養源は人間の血液です。

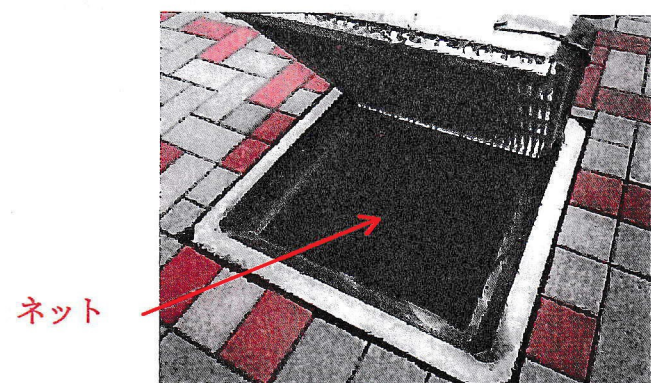
蚊の「栄養源」を断つことにより、徐々に発生量を抑えていきたいものです。

ご注意をよろしくお願いします。

雨水マスへの防虫ネット設置状況



コンクリート製雨水マスふたに
を防虫ネットを貼った状態



グレーチング製雨水マスふたに
防虫ネットを貼った状態